

# 子どもにスマホ、触らせる？



岡山県立玉島高等学校 普通科2年生

片岡瑚冬  
山本清楓

濱田真子  
小野佳奈子  
指導者 金田修一



## 1. 目的

情報化が進む現代、子どもたちのメディア使用は増えている。その中で保護者の意識はどのように変化しているのかを調べ、子どもたちとスマホの関わり方について考える。

## 2. 仮説

子どもにスマホやタブレットを使わせている保護者が多い。

- ・子どもにスマホを使わせることのメリット  
子どもの勉強に使える  
子どもがICT機器の操作に慣れる
- ・子どもにスマホを使わせることのデメリット  
長時間使いすぎてしまう  
視力の低下

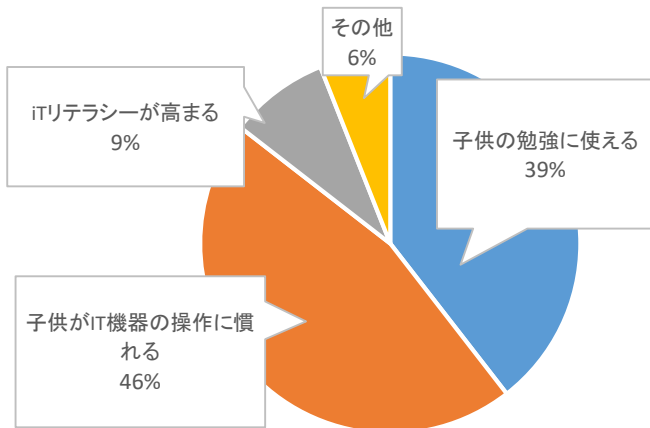
## 3. 研究方法

自分たちの出身幼稚園の5歳の保護者を対象にアンケートを依頼をした。

## 4. 結果

子どもにスマホを使わせているのは8割で、そのうち使用する上でのルールを決めているのは9割  
子どもにスマホを使わせたいと思う保護者は全体で7割

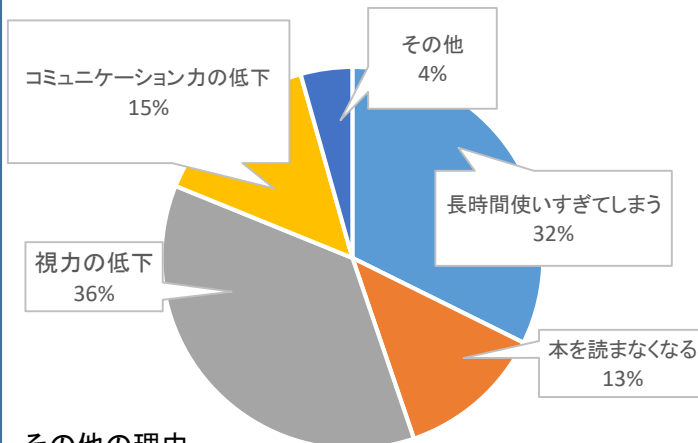
お子さんにスマホやタブレットを使用させることのメリット



### その他の理由

- ・緊急時の連絡
- ・世界のことを知れる
- ・語彙が増える
- ・困った時の情報ツール
- ・今後必要とされる力になる
- ・遠くの祖父母にメッセージが送れる
- ・親の家事や趣味の時間ができる
- ・ダンスを覚えられる
- ・体操教室での活用
- ・時間つぶしになる

お子さんにスマホやタブレットを使用させることのデメリット



### その他の理由

- ・思考力の低下
- ・身体能力の低下
- ・ストレートネックの助長
- ・依存してしまう
- ・指先を使って創作しなくなる
- ・SNSを通して知らない人と接触してしまう
- ・発想力の低下
- ・姿勢の悪化
- ・眠りが浅くなる
- ・辞書を使う機会の減少

## 5. 考察

子どもにスマホを使わせており、メリットをあげる保護者は多い一方で、スマホには悪影響があり、使わせたくないと考えている保護者も4割程度存在する。現代の社会では、子どもにスマホやタブレットに触らせざるを得ない。そのために幼少期からIT機器の操作に慣れてほしいため使わせたいが、長時間使いすぎてしまったり、視力の低下などの健康面を心配し、使わせるかどうか迷っている保護者がいることが分かった。

## 6. 結論

子どもにスマホを使わせることは、保護者にとっても子どもにとってもメリットがあると考えている保護者がいる一方で、悪影響だと考えている保護者も少なくない。デメリットとしてあげられた、健康面・思考面への影響や、長時間使うことを防ぐ方法を考えることができれば保護者はより積極的に子どもにスマホを使わせるようになるだろう。

## 7. 今後の課題

現時点では、ルールを設け、スマホの使用時間を制限することが長時間使用を避ける1番の方法だが、身体への影響を減らせるようなアプリは現時点でいくつか開発されている。そういったアプリも活用しながら、IT機器の使い方を考えなければならない。その上で保護者がIT機器に触らせるか触らせないかを決めざるを得ない。



## 8. 引用文献・参考文献 (WEBサイト)

- ・スマホやタブレット、子どもに触らせるのはOK? NG?
- ・スマホ育児のメリット・デメリットとは? 悪影響も知った上での上手な付き合い方
- ・スマホ依存症対策 スマホ制限アプリが人気!
- ・子育て世代がつながる 東京すくすく